

20代から始める投資信託の基本と失敗しないためのリスク対策



投資信託は、初心者でも手軽に始められる資産運用方法です。

「投資信託自体何かわからない」「そもそも資産形成ってなに？」という方にも分かりやすいように投資について解説していきます。

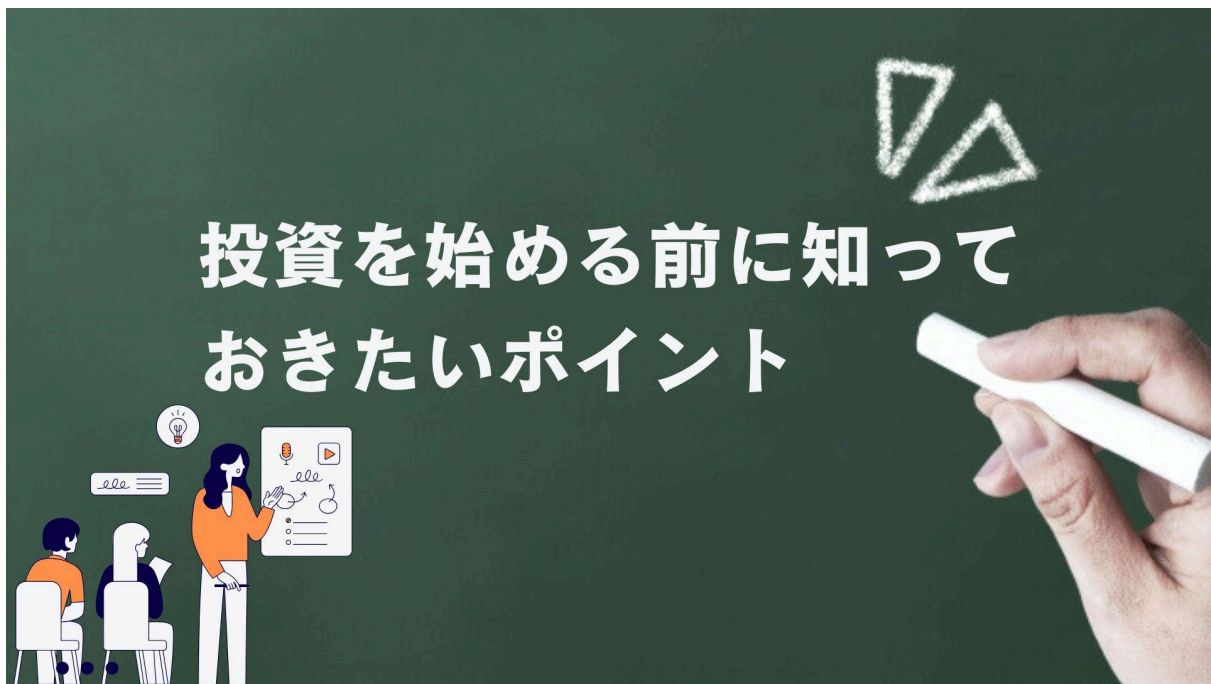
これから投資を始めようと思っているあなたが安心してステップを踏めるよう、しっかりサポートします！

- ・目次
 - 投資を始める前に知っておきたいポイント
 - 老後に向けての資産形成の方法
 - ・定期的な貯金
 - ・投資
 - 投資信託とは？
 - ・メリット
 - ・デメリット
 - NISAを利用した投資信託について

・メリット
・デメリット

- 20代から投資を始めておくメリット
- ・早いうちから投資の知識が身につく
- ・長期的な視点で利益を最大化できる
- ・リスクを分散させることができる
- 失敗しないためのリスク対策
- ・投資信託のリスクについて知っておく
- ・分散投資でリスクを低減する
- 無理なく続けられる資産形成の第一歩を

<h2>投資を始める前に知っておきたいポイント



収入を得たお金は、ほとんどが買い物や貯金に回するのが一般的だと思います。

定年退職後、消費支出分は退職金や年金などで補い、収入で足りない部分は貯蓄した資産から切り崩していくこととなるため、赤字傾向にあります。

参考:「[平成26年全国消費実態調査 結果の概要](#)」

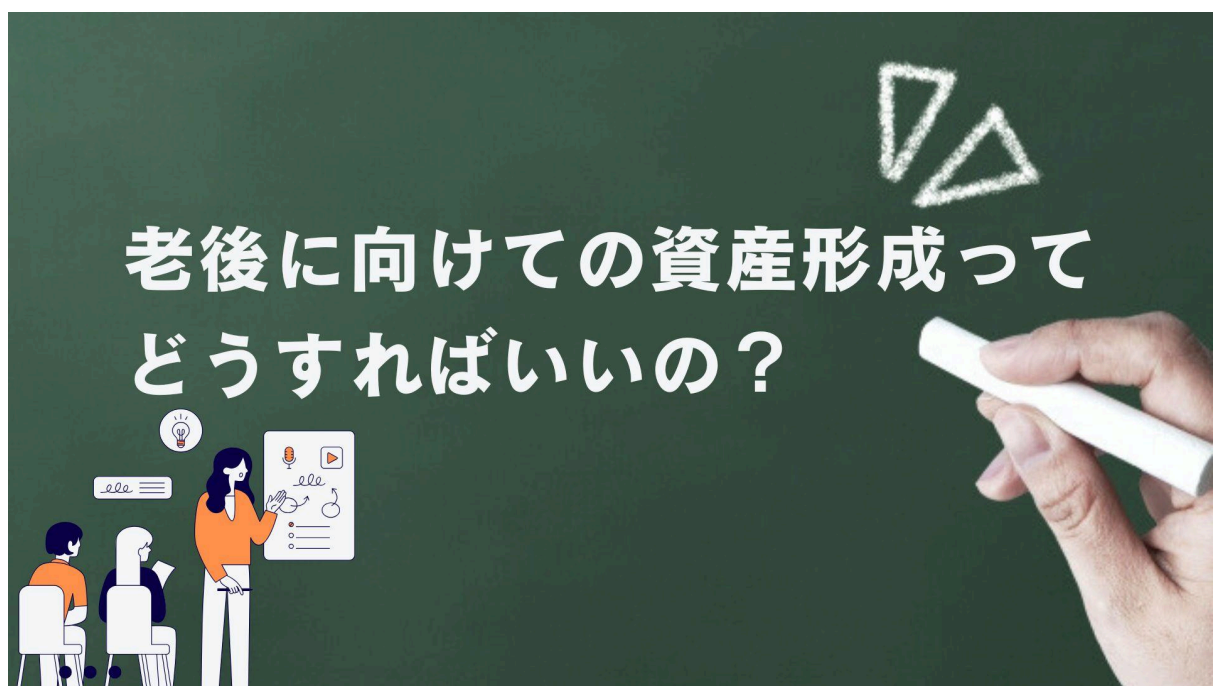
そこで、将来の利益を増やすためには、投資を始めるのが一つの方法です。

投資をすることで、金利の低い貯金では得られない「儲け」を得るチャンスが広がり、効率よく資産を増やすことができます。

ただし、高い儲けを目指す場合、リスクも伴うことを理解しておくことが大切です。

投資を始める前に、自分に合ったリスクの取り方を考え、しっかりと学びながら行動することが、成功への大切なステップです。

<h2>老後に向けての資産形成ってどうすればいいの？



資産形成は、将来の予測できない支出に備えるために重要です。

結婚や病気、事故など、突然の支出が発生する可能性がありますし、現在の職場で安定した収入を得られるかどうか分かりません。

また、退職後の生活に必要な資金は、退職金や年金だけでは十分ではないことが多いです。

貯蓄だけでは限界があるため、ほかの資産形成方法についても早いうちから学び、取り組んでおくことが理想です。

学んでおくことによって、将来に向けて安定したお金を準備することができます。

次に、どんな資産形成の方法があるのかについて説明します。

<h3>定期的な貯金

貯金は安全で、銀行にお金を預けるだけで誰でも簡単に始められる方法です。

リスクがないため安心して利用できますが、今の時代、預金で得られる利益はほとんどありません。

例えば、日々の生活費が少しずつ高くなった場合、貯金しているお金の価値が減ってしまうことがあります。

つまり、貯金だけではお金を増やすのが難しく、長期間にわたって資産を増やし続けるのは難しいということです。

<h3>投資

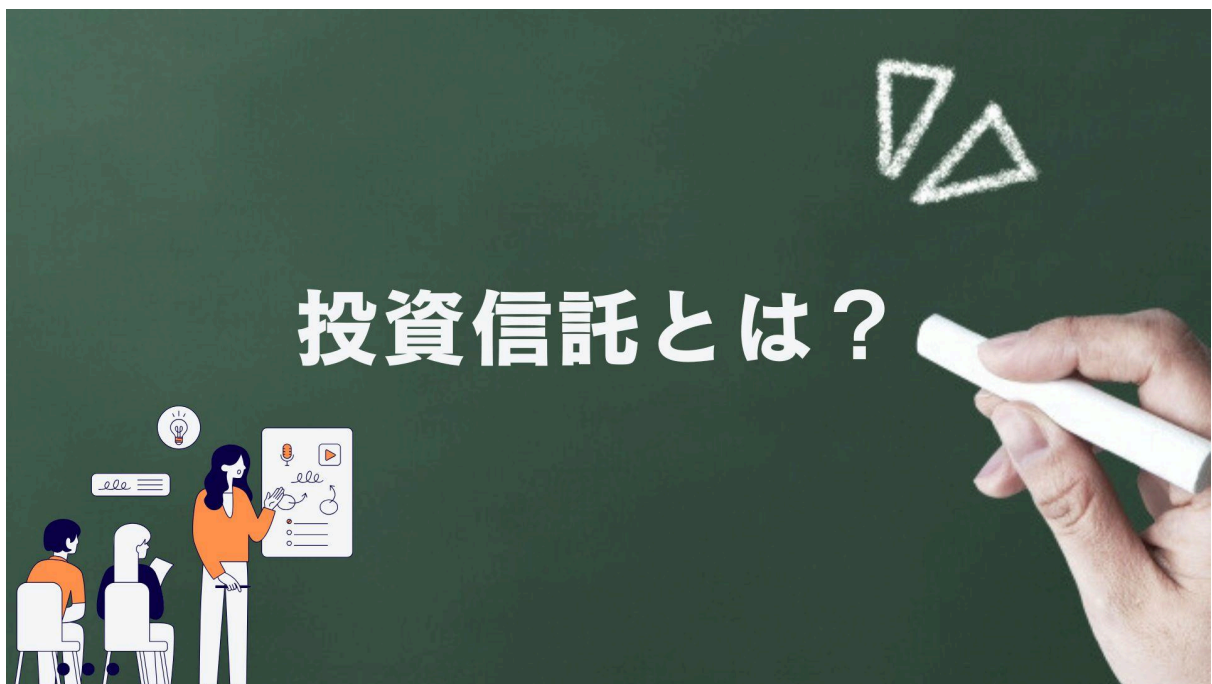
投資とは、株や債券、投資信託などの金融商品のことを指します。

政府や企業にお金を使って資産を増やし、将来の利益を期待できますが、その分リスクも伴います。

うまく活用すれば、貯金では得られないリターンを得られる可能性があります、慎重に行うことが大切です。

投資はすぐに大きな利益を得られるものではありません。長期的にじっくり取り組むことが大切です。

<h2>投資信託とは？



投資信託は、複数の投資家が集めたお金をプロが管理し、株や債券などに分けて投資する仕組みです。

個別に投資するのではなく、いろいろな資産に投資することで、**リスクを分散できるのが特徴です。**

少ないお金でも、いくつかの投資先に分けて投資できるので、安心して始めやすいです。

また、プロが運用するため、知識がなくても手軽に始められ、資産を増やすチャンスを広げることができます。

<h3>投資信託をする上での3つのメリット

投資信託のメリットは、大きく分けて3つあります。

- **プロが運用してくれる**ので、投資初心者でも安心して任せられること
- 少額でも複数の企業に投資できるため、**リスクを分散できること**
- **手軽に始められる**ため、投資を始めたいと思っている人に人気があること

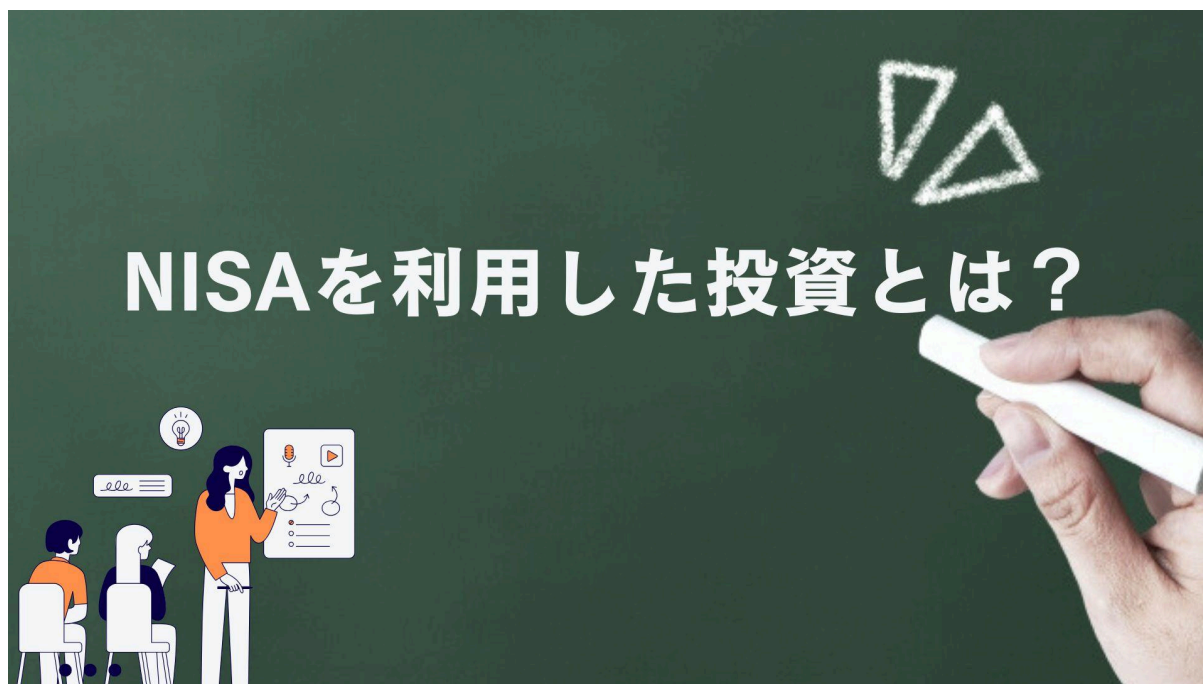
上記の点より投資信託は初心者でも始めやすい投資であるといえます。

<h3>投資信託をする上での3つのデメリット

- プロが運用してくれるという大きなメリットはあるが、必ず利益を生むわけではないこと
- **投資信託で得た利益には住民税や所得税が約20%かかる**ため、税金の負担も考慮しなければならないこと
- **利益が出ても、最終的に手にする金額は税金を差し引いた分となること**

投資信託を利用する際は、上記の点もしっかり理解しておくことが重要です。

<h2>NISAを利用した投資とは？



NISAは、さまざまな金融商品を「非課税」で運用できる制度です。

日本政府が家計の所得が拡大するよう「資産所得倍増プラン」を2022年11月28日に策定し、NISA制度を中心に家計金融資産を貯蓄から投資にシフトチェンジさせるための取り組みがされています。

通常、投資には利益に税金がかかりますが、NISA口座を使うことで、その利益に税金がかからず、得られた利益をそのまま手にすることができます。

簡単に言うと、NISA口座で株や投資信託を購入することで、税金を気にせずに運用できるということです。

参考：[「新しいNISA制度」が国民の資産形成を強力に後押し](#)

<h3>NISAを活用する3つのメリット

- 投資信託や株式などの利益に対して税金がかからないこと
- 少額から投資を始めることができるため、資産形成の第一歩としても手軽に取り組めること
- 長期的な資産形成に有利で、非課税のメリットを最大限に活用できること

上記の点よりNISAにも大きな魅力があるといえます。

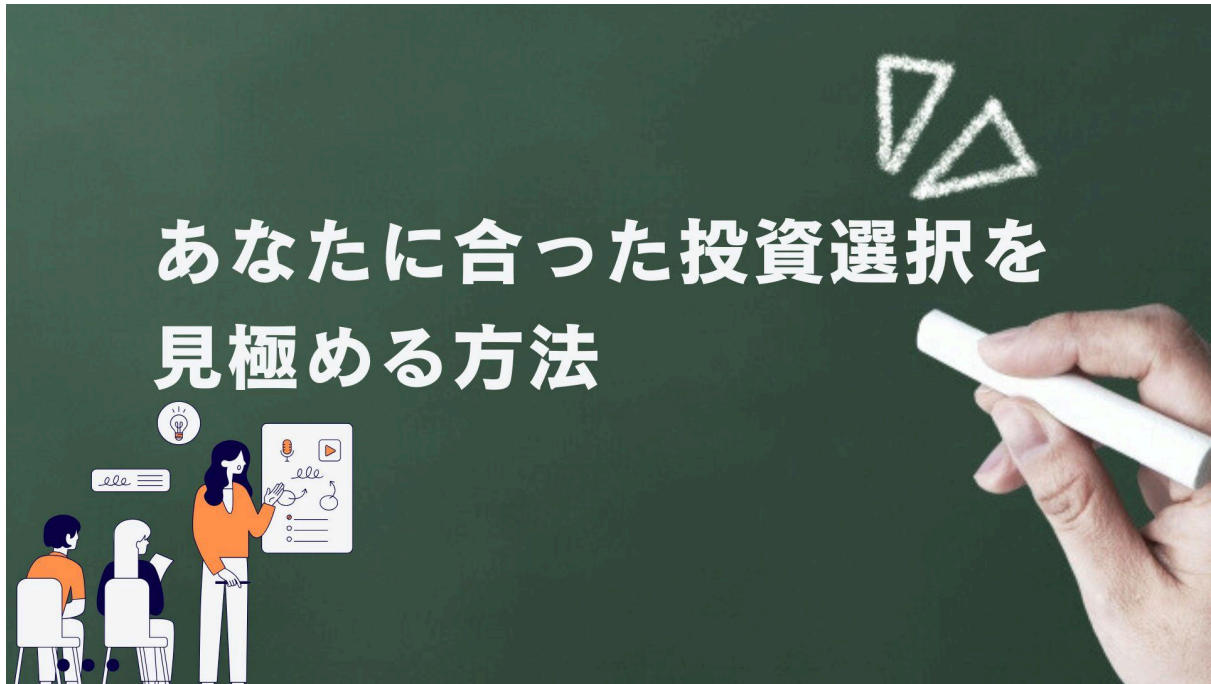
<h3>NISAを活用する3つのデメリット

- 年間の投資上限額が120万円と決まっており、この枠を超えると課税されること

- **NISAの非課税期間は最大5年間**と限られていること
- NISA口座を使って投資信託を購入した場合のみ、株式投資でよく見られる株主優待を受けることができないこと

NISAを活用しての投資には上記の点のようないくつかの制限があります。

<h2>あなたに合った投資選択を見極める方法



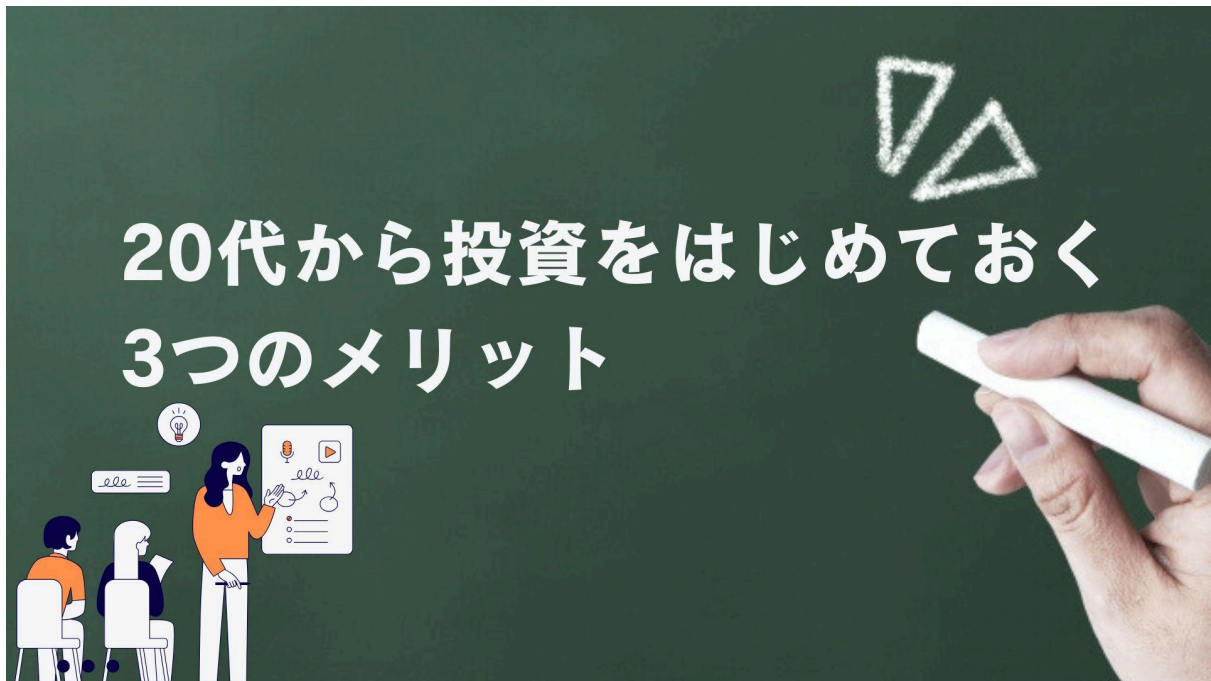
投資信託は、プロが運用しリスクを分散してくれるので、初心者でも安心して始めやすいです。

一方、NISAは税金がかからないため、得た利益をそのまま受け取れるのが大きな魅力です。

実は、NISAは投資の制度で、投資信託と組み合わせることでより効果的に運用できます。

NISA口座で投資信託を買うことで、リスクを分散しつつ、税金の優遇を受けながら資産を増やしていけるので、初心者にもぴったりです。

<h2>20代から投資をはじめておく3つのメリット



20代から投資を始めることは非常にいいタイミングです。

若いうちから始めるということは知識不足で不安な点も多いはずですが。

しかし、長い時間をかけて知識をつけることができ、リスクを分散させることができるといったメリットのほうが大きいのです。

さらに、若いうちから資産を築いていくことで、後々の急な支出に対しても備えることができ、老後も安心して生活できるのが大きなポイントです。

<h3>早いうちから投資の知識が身につく

投資を20代から学んでおくことで、長い時間をかけながら投資の知識や経験を積むことができます。

投資にはリスクや失敗がつきものですが、失敗を次に活かすことができるといったメリットもあります。

よい投資判断ができるようになります。

<h3>長期的な視点で利益を最大化できる

20代から投資を始めることで、長い時間をかけて投資を続けることでリスク分散をさせながら安定した運用ができます。

短期的な値動きにも振り回されないというのも大きなポイントです。

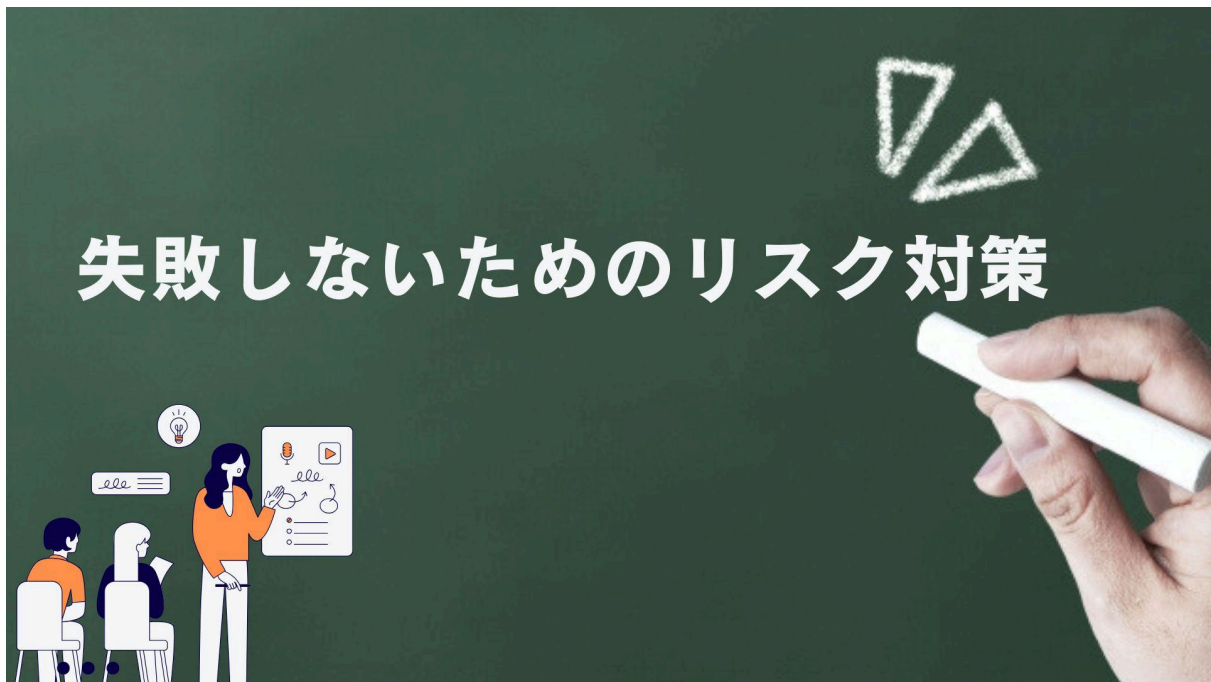
<h3>リスクを分散させることができる

20代であれば、まだ収入もそこまで多くなく、家庭や生活におけるリスクも少ないため、リスクを取って投資する余裕があります。

もし、短期的な損失が出たとしても、長期的に運用していくうちにリカバリーができるため、大きなリスクを軽減することができます。

また、投資信託を購入する場合、複数の金融に投資できるためリスクを分散させることができるというのも魅力の一つです。

<h2>失敗しないためのリスク対策



投資信託を購入する際、プロが複数の株や債券、他の金融商品を組み合わせて運用してくれるため安全性は高いと思いがちですが、リスクが完全になくなるわけではありません。

しかし、対策を行っておけば、多少のリスクに備えることができます。

以下でどのようなリスクがあるかと対策についてお伝えします。

<h3>投資信託のリスクについて知っておく

投資信託の種類によって異なりますが、さまざまなリスクが存在します。

例えば、「価格変動リスク」や「信用リスク」「為替変動リスク」などがあります。

「価格変動リスク」とは、投資信託で株や債券などの金融商品を購入し、投資しています。

そのため、金融商品が売買されている場所や環境の動きに影響されます。

景気が悪くなると、投資信託の価格に大きな影響が出る場合があります。

「信用リスク」とは、債券を発行している国や企業の経済状況が悪化すると、投資信託1口あたりの価格が下がることがあります。

「為替変動リスク」とは、投資信託を外国のお金、アメリカドルやユーロで取引をしている場合、交換レートの変動によって利益が増えたり減ったりします。

円安の場合、外国で得た利益を円に換算すると利益は増えますが、円高の場合は利益を損失してしまう場合があります。

<h3>分散投資でリスクを低減する

自身が購入した投資信託にはどのようなリスクがあるのかについて、事前にリサーチしておくことが大切となります。

また、1つの金融商品にだけ購入し投資するのではなく、複数に投資することでリスク分散ができるというのも戦略の1つです。

リスクを完全に取り除くことは不可能だということを理解したうえで、適切にリスク管理を行うことで安定した資産運用が可能となります。

初心者の方は、専門家や金融アドバイザーに相談することも効果的です。

<h2>無理なく続けられる資産形成の第一歩を



これからの生活や老後に備えて、お金を増やす方法を考えたときに投資信託やNISAを活用することは非常に効果的です。

特に20代から投資を始めることで、将来のために少しずつ資産を積み上げていくことができます。

あなたがもし「将来のためにお金を増やしたいけど、どう始めたらいいのかわからない」と感じているなら、投資信託やNISA口座を利用した投資を始めてみてください。

少額からでも投資を始めることができ、プロが運用をしてくれるので、初心者でも安心です。

今からでも遅くはありません。

未来のために今、第一歩を踏み出し、あなたの資産運用をスタートさせましょう！